

# ポスト2020を見据えた中野区の取組（概要）

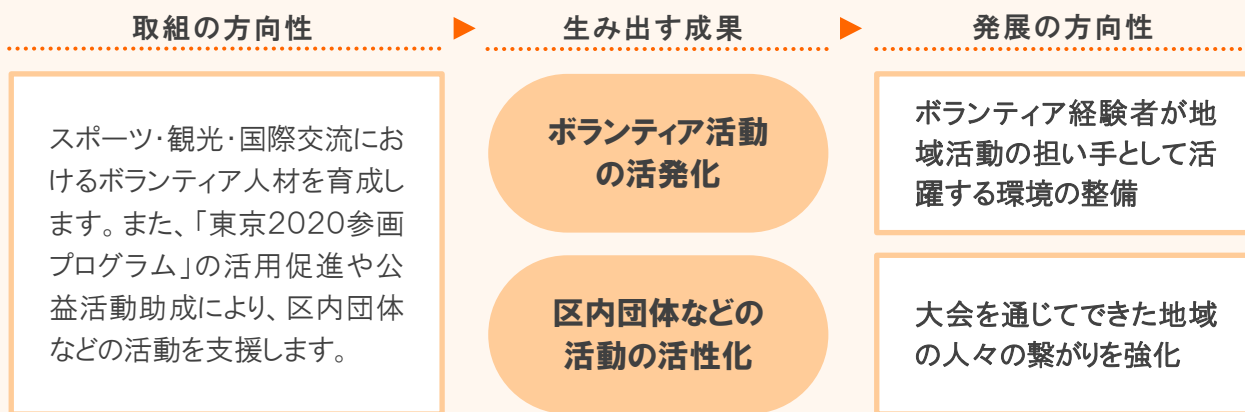
## 基本的な考え方

- 様々な主体による大会への直接的・間接的な参加を促進し、地域活動や公益活動の活性化に繋がります。
- 大会の開催を、単なる一過性のスポーツイベントに留まらせるのではなく、区民の長期的なスポーツ活動・健康づくりの推進に繋がります。
- 区民の国際理解や障害者理解の促進を図り、多様性を尊重した誰もが暮らしやすいまちづくりを進めます。
- 国内外の来街者の誘致等による地域経済の活性化を図り、持続的なまちづくりのための契機とします。



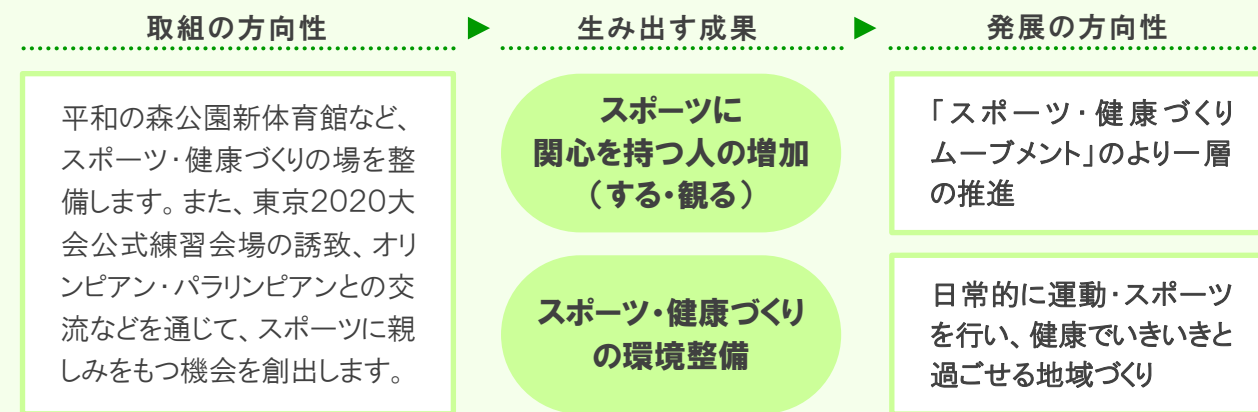
## I 大会にみんなで参加し、地域での支えあいが広がるまち

東京2020大会開催に向けた取組を契機として、ボランティア文化が定着し、地域活動・公益活動の担い手が増加しています。



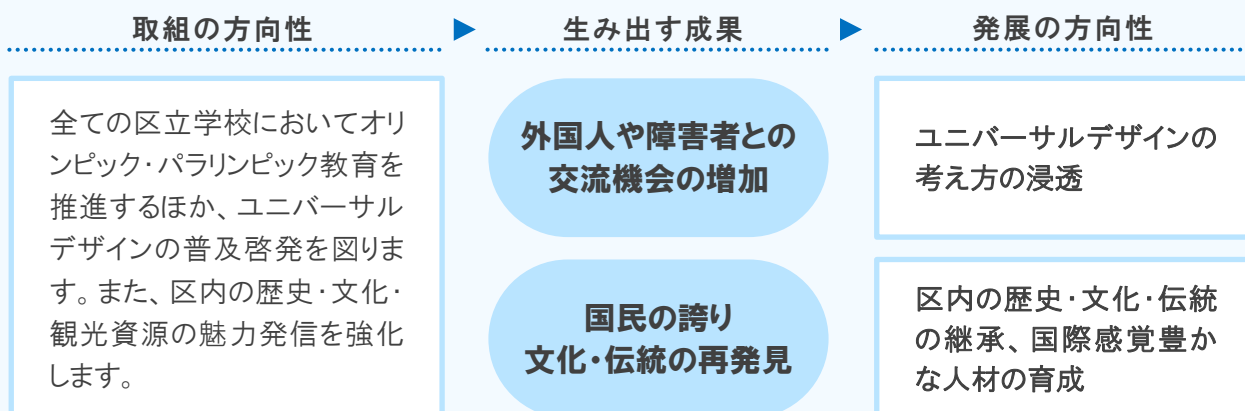
## II スポーツ・健康づくりで活力のあふれるまち

生涯を通じてスポーツや身体活動、学習を行うことで、自分に適したライフスタイルを築き、主体的にスポーツや健康づくりに取り組む区民が増えています。



## III 多様性を尊重するまち

高齢者、障害者、外国人など、様々な区民に対する理解、文化・伝統・歴史に対する理解を深め、誰もが生活しやすいまちとなっています。



## IV 多彩な魅力で選ばれるまち

国内外の来街者に向けた都市基盤の整備、環境負荷の少ないまちづくりの進展等により、グローバルな業務商業活動の拠点や観光・ビジネス・居住先としての魅力が高まっています。

